

周縁から越える「境界」

— 日韓演劇人の越境のかたち —

日時 2015年11月28日(土)
13:00~17:30 (12:30開場)

場所 北海道大学情報教育館3階
スタジオ型多目的中講義室
(札幌市北区北17条西8丁目)
*南北線 北18条駅より徒歩10分

中心からすれば、周縁は相対峙する政治的空間の最前線に過ぎないでしょう。しかし、地方からはそこに政治関係を通り越してヒトとモノと文化が交流する境界圏がみえてきます。

本シンポジウムは、北海道と大阪で日韓の演劇交流に取り組む人々を招き、植民者二世として日韓の「境界」を生きた森崎和江の思想に導かれながら、札幌の舞台が作り上げる境界圏をとおして今後の日韓関係のあり方を模索します。

〈第1部〉 13:00~14:30

対談

森崎和江の思想から考える
日韓の未来

松井理恵 (北星学園大学非常勤講師)

×

玄武岩 (北海道大学大学院准教授)

〈第2部〉 14:40~17:30

シンポジウム

日韓演劇人の越境のかたち

《パネリスト》

木村典子 (札幌座 プロデューサー)

キム・グアンボ (韓国 ソウル市劇団長)

宮田圭子 (札幌座 女優)

池田直隆 (DRAMA MISSION Z 主幸)

《進行》 渡邊浩平 (北海道大学大学院教授)



札幌座「蟹と彼女と隣の日本人」
撮影／高橋克己

言語：日本語・韓国語 (逐次通訳あり)

事前申し込み：不要

参加費：無料



DRAMA MISSION Z 主幸「姜信一と私」
撮影／相川博昭

主催：北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センター

問い合わせ先：東アジアメディア研究センター 芳賀 恵

TEL / 011-706-5143 E-MAIL / eastasian2@imc.hokudai.ac.jp